

（仮称）富士山の恵み産業パーク 基本構想 概要版 （沿道利便施設）



令和 7 年 6 月



沿道利便施設全体鳥瞰パース

1 「沿道利便施設」整備の背景と目的

主要幹線道路沿いに富士山の恵みを最大限に生かした「御殿場型経済・観光活性化」の拠点となる「道の駅」的な機能を持つ施設を整備し、年間約1,500万人訪れる観光客を、通過型観光から着地型観光への促進を図っていくことで、本市の観光交流客数、関係人口の拡大や地域経済の活性化につなげること、加えて、自然災害などへ対応できる防災の要となる施設とすることを目的としています。

2 整備に関する基礎調査

沿道利便施設整備に関する基礎調査を行い、沿道利便施設を検討する上で重要な視点を整理しました。地域性、俯瞰的かつ多面的な視点、地域ニーズを最大限反映したコンセプト・基本理念の構築を行います。

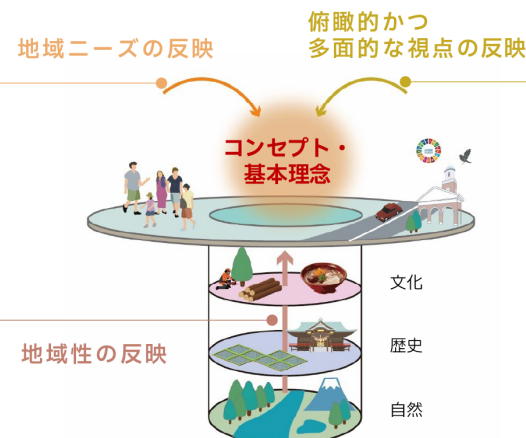
沿道利便施設を検討する上で重要な視点とコンセプト・基本理念の構築イメージ

【2.4】御殿場市の魅力に関するアンケート調査

- 御殿場市の魅力は富士山、アウトレット、交通アクセスのよさ、自然・公園の豊かさ、水・食料関連
- 景観と食のどちらの分類に関しても、「御殿場の水」がランクイン

【2.1】御殿場市の現況

- 古くからの交通の要衝
- 富士山の豊富な伏流水や湧き出した豊富な地下水と農業
- 観光交流客数約1,500万人（静岡県内第3位）
- 自然を活かした施設群
- 箱根、山梨方面への交通の利便性



【2.2】上位・関連計画における位置づけ

- 富士山の麓である立地特性を活かし、豊かな自然環境と共生し、人が集い活力あふれるまちづくりを目指す

【2.3】社会的ニーズの整理

- 持続可能な観光地域づくり
- インバウンド向けコンテンツ
- まち全体の魅力を高める沿道利便施設
- 周辺の道の駅との差別化

3 コンセプト・基本理念

御殿場を象徴する名所である富士山と、おいしい水に着目してコンセプト・基本理念を策定しました。

沿道利便施設コンセプト・基本理念



水の動きに着目した5つのキーワードをもとに、沿道利便施設の整備検討を進めていきます

#1 わきでる #2 ながれる #3 ゆらめく #4 うるおう #5 しみこむ

スポーツタウン御殿場としてのポテンシャルや自然を活かした御殿場ならではの体験を通じて多様な活動が**わきでる**場づくりを目指します。

古くからの交通の要衝としての機能を発展させ御殿場市内外の観光施設などと連携し、人々が**ながれる**ゲートウェイを目指します。

富士山や水の動きを活かしたランドスケープを通じて来訪者の心が**ゆらめく**ようなゆったりとした心と空間づくりを目指します。

水を代表する豊富な地域資源を活かした地場産のマルシェや個性豊かな飲食店により、来訪者や地域が**うるおう**場づくりを目指します。

地域と連携した御殿場ブランドの創出や御殿場らしい文化・芸術の発信などを通じて、地域に**しみこむ**コミュニティづくりを目指します。



【出典】軽井沢観光協会ホームページ

4 整備候補地の選定・整備予定地の概要

整備予定地は一定の交通量があり、富士山と東名・新東名高速道路の両ICに接続する国道138号沿いに位置しています。アウトレットなど主要な観光施設にも近接する立地となっています。

整備予定地から良好に富士山を眺望することができます。

整備予定地位置・現況写真

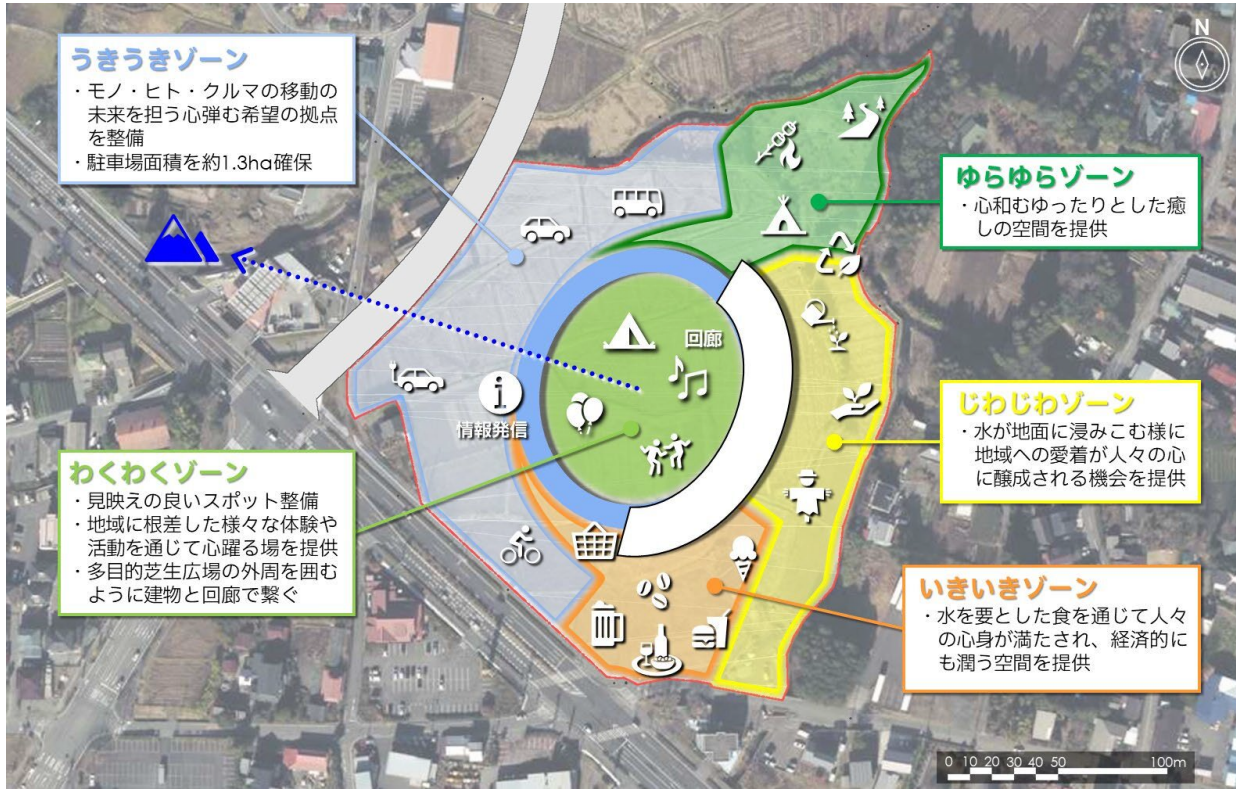


【出典】地理院地図vector

5 導入機能・基本ゾーニング計画

基本理念のキーワードをもとにした5つのゾーンから導入機能群を検討しました。ゾーン名はキーワードをもとに、水の動きに合わせて来訪者の心が動かされるような表現としています。

ゾーニングをもとに施設整備イメージパースを作成しました。



わくわくゾーン（広場）と回廊のイメージ



建物と広場のイメージ

沿道利便施設への導入が想定される24の機能イメージを作成し、観光客および市民アンケートで沿道利便施設に望まれる導入機能のニーズを調査しました。

地域ニーズアンケート：沿道利便施設にどのような機能があるとよいと思いますか

観光客・市民を対象としたアンケート（年代別上位）

	全年齢	～30代	40代・50代	60代～
1位	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる
2位	富士山が一望できる展望施設・撮影スポットがある	家族や子どもと一緒に遊ぶことができるような子育て世帯向けの施設がある	富士山が一望できる展望施設・撮影スポットがある	富士山が一望できる展望施設・撮影スポットがある
3位	おしゃれなカフェでゆっくり過ごすことができる	おしゃれなカフェでゆっくり過ごすことができる	おしゃれなカフェでゆっくり過ごすことができる	御殿場市の食材を活かした食事を楽しむことができる
4位	家族や子どもと一緒に遊ぶことができるような子育て世帯向けの施設がある	富士山が一望できる展望施設・撮影スポットがある	御殿場市の食材を活かした食事を楽しむことができる	家族や子どもと一緒に遊ぶことができるような子育て世帯向けの施設がある
5位	御殿場市の食材を活かした食事を楽しむことができる	豊かな自然を楽しむことができる	家族や子どもと一緒に遊ぶことができるような子育て世帯向けの施設がある	動物とふれあうことができる/ペットと過ごすことができる

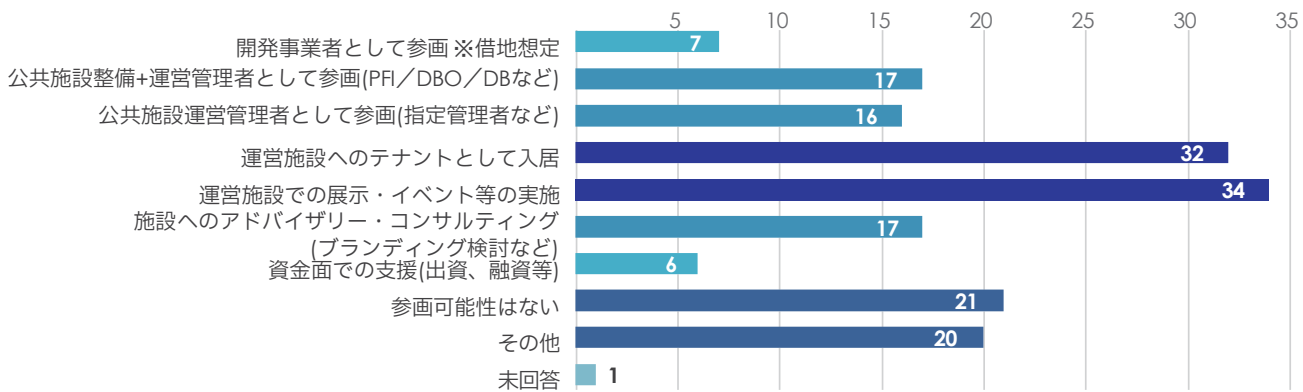
6 整備および管理運営手法

沿道利便施設のコンセプト・基本理念をふまえ、沿道利便施設の整備効果を最大限活かすための整備および管理運営における基本方針を示します。

- 【基本方針1】施設全体として空間の魅力を発揮する沿道利便施設を目指す
- 【基本方針2】民間事業者の創意工夫の発揮と管理運営を見据えた沿道利便施設を目指す
- 【基本方針3】市民の参加・協働を推進し、地域活性化に寄与する沿道利便施設を目指す

沿道利便施設のコンセプトや運営に関する方針の参考にするため、御殿場市内外の企業・団体を対象としたアンケート調査を行い、計画地やコンセプト、沿道利便施設への参画の仕方について一定のニーズを確認しました。

企業・団体ニーズアンケート：沿道利便施設への参画の仕方



7 今後の検討事項

沿道利便施設基本計画は令和7年度から8年度にかけて策定を進める予定です。近年では基本設計時に運営管理候補者が内定しているケースがみられますが、基本計画策定直後に基本設計を行う場合は、基本計画期間中に運営管理候補者の選定手続きが必要となります。引き続き企業・団体へのサウンディング調査を行い、ニーズを確認する必要があります。基本計画期間中に整備および管理運営手法が決まることによりスケジュールが決定します。